

つながる海 フォーラム

～海・種・記憶～

日本列島は海に囲まれ、東北の太平洋沿岸では黒潮と親潮が混じり合い、たくさんの命が育まれています。

この海のほとりで私たちは魚を獲り、塩を作り、船を浮かべ、牡蠣や海苔を育て、

歌を詠み、種を蒔き、風景を描き、時には異国と行き来をし、時には自然の力に憚き、

太陽と潮の満ち引きと対話しながら暮らしてきました。

2011年3月、海は多くのものを奪い去りましたが、

私たちが海に育まれてきたこともまた、変わらない事実です。

これからを生きていくために、私たちの記憶をもう一度呼び起こすべき時が来ているのかもしれません。

数年前、日本海から海と向き合い始めた人たちが、2013年5月、塩釜にやってきました。

彼らとともに私たちは、私たちのルーツを知る旅を始めました。

このフォーラムは、同じ東北の海辺に暮らすみなさんと、また、東北の暮らしに思いを馳せるみなさんと、

私たちの旅を分かち合う時間です。あなたも少しだけ、私たちと一緒に旅をしてみませんか。

2013.12.7(sat) 13:00~16:45 開催時間

トーク & パネルディスカッション

場所：ふれあいエスプ塩釜 エスプホール 参加費：無料 定員：100名（申込不要）

2013.12.8(sun) 10:40~14:00 開催時間 要予約

浦戸諸島を伝えるリーディング「海よりも風よりも（仮）」

場所：民宿外川屋 参加費：交通費・食費実費 定員：20名

塩釜市営汽船 マリンゲート塩釜↔寒風沢島 ¥1200/ 昼食（牡蠣鍋）¥2000

2013.12.7(sat) 開催時間 13:00~16:45

トーク&パネルディスカッション

場所：ふれあいエスプ塩竈 エスプホール 参加費：無料

定員：100名(申込不要)

ナビゲーター：津川登昭（一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ）

司会：佐藤愛由美（宮城ケーブルテレビ株式会社マリネット）

12:30~13:00 開場／「そらあみ」体験ワークショップ

13:00~13:15 開会挨拶、趣旨・プログラム説明

13:15~13:55 基調講演：「日本列島弧の水の文化」 山田創平

社会学者。専門は地域研究芸術と地域、マイノリティと地域、都市空間論）。京都精華大学人文学部専任講師。NPO法人アートNPOリンク理事、大阪市現代芸術創造事業実行委員、HAPS実行委員などを兼任。また現代美術作家のブブ・ド・ラ・マドレーらと共にインスタレーションやパフォーマンスの制作・発表もしている。世界各地の水辺をめぐり、水を切り口に新しい社会のあり方を模索している。

13:55~14:20 活動紹介1・「種は船」プロジェクト

日比野克彦、五十嵐靖晃、喜多直人ほか

「種は船」プロジェクトは、アーティスト・日比野克彦の監修により2007年から始まった市民参加型アート・プロジェクト。種が伝子の記憶を伝えるように、人類も文化や文物を船に乗せて他の土地や次世代へ伝えて来たことから、朝顔の種の形をした船「TANeFUNe」に記憶を乗せて移動し、地域や人の交流を生む航海を続ける。「TANeFUNe」は京都府舞鶴市の市民により造船され、日本海での航海を経て、2013年夏、宮城県塩竈市・浦戸諸島で活動した。

14:20~14:45 活動紹介2・リエゾンキッチン 高橋信壯

私立明成高等学校調理科教諭。2006年、地域連携による食育活動として「リエゾンキッチン」を開始。東日本大震災後、塩釜市浦戸諸島の野々島で仙台白菜の種採りを行っている。宮沢賢治が白菜を育てていたと推測されることから、2012年～宮沢賢治の畑で白菜を育てる活動も開始。食文化を保全し、自分たちの地域を知るための「文化的活動」として一連の活動を展開している。

14:45~15:05 休憩／「そらあみ」体験ワークショップ

15:05~16:35 パネルディスカッション「海・種・記憶」

山田創平、日比野克彦、高橋信壯、津川登昭 ファシリテーター：森真理子（一般社団法人 torindo）

「海・種・記憶」をテーマに、基調講演と活動紹介で出たトピックをより掘り下げます。

16:35~16:45 閉会挨拶



〒985-0036 宮城県塩竈市東玉川町9-1

津川登昭

（一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ理事長）

塩竈市生まれ、多賀城市在住。仙台市の広告会社に所属し「純米酒BAR」「せんコン」などをプロデュース。震災後、湾の恵みで富むこの地域は全て兄弟であると感じ、湾コミュニティによる新しい力を生むために一般社団法人チガノウラカゼコミュニティを発足。「製塩文化を伝える」「湾の产品を売る」「湾コミュニティの拠点としての湾の駅構想」を提唱している。

「種は船」プロジェクト参加アーティスト

日比野克彦／アーティスト。東京芸術大学教授。活動範囲は作品制作に留まらず、パフォーマンスなど身体を媒体とした表現にも及び、「生きることは自分を表現すること」として、手段に束縛されず自己の可能性を追求している。『種は船』では監修・コンセプトを組み、多様な人々や活動、地域が交流するプロジェクトを開拓している。

五十嵐靖晃／アーティスト。東京藝術大学院修了。土地に住み、そこで出会う人と共に、普段の生活に新たな視点と人の繋がりをつくる試みを行う。代表作は、福岡県太宰府天満宮との協働プロジェクト「くすかき」、住民たちとともに新たな風景をつくり上げる「いろほし」「そらあみ」など。

喜多直人／金沢生まれ、金沢在住の写真家。『自然と人間の同居』をテーマに、誰かにとっては日常、誰かにとっては非日常を記録する。TANeFUNe 船長として2013年6月より宮城県塩竈市に滞在、浦戸諸島でTANeFUNe カフェや宿ものづくりのワークショップを行った。

展示 TANeFUNe in 浦戸諸島

会場前ホワイエでは、TANeFUNeが浦戸諸島で集めた「宝物」や写真の展示を行います。

12:30~13:00/14:45~15:05/16:45~17:05 「そらあみ」体験ワークショップ

開場／休憩／閉会後には、2013年夏に浦戸諸島で行われた「そらあみ」を体験できます。「そらあみ」は、アーティスト・五十嵐靖晃が各地の浜辺で地元の人と魚網を編むプロジェクト。太古から続く海辺の営みを共に行い、完成した網をその場で展示するプロセスを通して、その土地の景色と人のつながりを捉えなおす試みです。

2013.12.8(sun) 開催時間 10:40~14:00 要予約

浦戸諸島を伝えるリーディング「海よりも風よりも(仮)」

松島湾と太平洋の間に浮かぶ浦戸諸島。

風光明媚なこの地に伝わる伝承を書き下ろしのリーディング作品にし、島の民宿を会場に上演します。

豊かな自然に囲まれながら、土地の記憶と美味しい牡蠣料理を存分に味わっていただきます。

場所：民宿外川屋 参加費：交通費・食費実費 定員：20名

塩釜市営汽船 マリンゲート塩釜 ⇄ 寒風沢島 ¥1200/ 昼食(牡蠣鍋) ¥2000

当日スケジュール

9:10 マリンゲート塩釜集合

10:16 寒風沢島着

10:40 リーディング「海よりも風よりも」上演

11:20 寒風沢島散策

12:20 昼食

14:54 マリンゲート塩釜着

15:10 解散

<問い合わせ・リーディング申込>

info@birdoflugas.com 080-3198-4818 (ビルド・フルーガス)

※申込に際していただいた個人情報は、本企画についてのご連絡・ご案内にのみ使用させていただきます。

